

令和8年4月16日

第1回 白馬中学校 学校運営協議会 議事録

日時： 令和8年4月16日(木) 15:30-16:30

場所： 白馬中学校

出席者： 武藤委員長（白馬国際クラシック窓口、山案内人）、宗川副委員長（学習支援ボラ代表、保護者）、渡邊委員（白馬SDGsラボ）、橋本委員（さくら不動産代表）、津滝委員（白馬そだち・白馬農場会長）、大塚委員（公民館長）、伴（長野県教育委員 CSアドバイザー）委員、篠崎校長、矢澤教頭（事務局）、塩島教育指導員(村)、下川教育課長

1. 開会・委員紹介

- **委員長挨拶**： 武藤委員長が再任。部活動の充実を含め、地域と学校の連携強化を表明。
- **新任委員・職員紹介**：
 - 大塚委員（4月より白馬村公民館長に着任）：ICTを活用した授業の進展に驚きつつ、地域活動との連携を模索。
 - 篠崎校長（4月着任）：白馬村出身。「人生を楽しむ」ための土台となる3年間を支える学校づくりを決意を表明。
 - 塩島教育指導員：教育委員会に復帰。

2. 教育委員会挨拶（下川教育課長）

- 教育長代理として挨拶。村の教育行政への協力に感謝を述べるとともに、篠崎校長、塩島指導員を軸とした学校と委員会の密な連携を要請。

3. 令和8年度 学校運営方針（グランドデザイン）の承認

篠崎校長より、今年度の学校経営方針について説明があり、承認された。

- **学校教育目標**：「人生を楽しむ」
 - 究極の目標として掲げつつ、そのベースとなる「足元を固める基礎づくり」の3年間を目指す。
- **教育ビジョン**：「愛のある学校（Well-being Junior High School, Filled with Love and Smiles）」
 - 愛、触れ合い、学び合い、支え合いなど多角的な「あい」を重視。
- **目指す生徒像**：知って考え行動できる生徒、自立した生徒、人間性豊かな生徒。
- **重点事項**：授業を根幹とした「学びづくり」と「集団づくり」の強化。

4. 学習支援ボランティア・「あい TIME」の実施

- **放課後クラブ**：水曜放課後に数学、英会話、茶道を実施。昨年度の協力者への継続確認と、参加生徒の募集を開始。
- **あい TIME (特設講座)**：毎週月曜日の 30 分間、地域の講師を招いて多様な講座を開設。
 - **意見交換**：
 - ボランティア講師の確保が課題。生徒のニーズ（料理や地元の文化など）に合わせた柔軟な講座設定の提案があった。
 - 部活動の地域移行を見据え、アイタイムを「地域の大人と学ぶ場」や「好きなことを極める場」として活用する可能性が示唆された。
 - 検定料補助制度（村による補助）の活用についても言及。

5. 総合的な学習の時間（白馬インターナショナルスクール、中高連携）

- **活動実績と計画**：
 - 防災や白馬の未来をテーマとした学年活動、全校縦割りワークショップ、中学生議会などを実施。
 - **ジュニアフォーラム**：11月20日に開催予定。昨年度は協和ウイング白馬で発表を行い、生徒の活躍が見える内容であった。今年度は保護者や地域への告知をより強化する方針。
- **中高連携**：村の教育アドバイザー（麻生講師）を介し、白馬高校との連携を模索。
- **成果と課題**：
 - 生徒の白馬への愛着や個性の伸長に成果が見られる一方、教職員の異動に伴う仕組みの定着が課題。

6. 主な意見・要望事項

- **白馬駅前フェス**：8月29日に開催予定。中学生の出展（無料）を歓迎し、継続的な地域参画を促したい（渡辺委員）。
- **景観への配慮**：山の眺望を妨げない看板設置など、大人の背中を見せる取り組みの重要性（武藤委員長）。
- **登山行事**：伝統的な白馬岳登山や現在の唐松岳登山について、生徒の体力や安全面、ゴンドラの時間制限などを考慮した計画の難しさが共有された。
- **修学旅行**：6月の奈良・京都方面。混雑回避のメリットはあるが、暑さ対策が懸念事項として挙げられた。

※本議事録は、配付された資料・録音内容に基づき、事務局が整理したものです。